



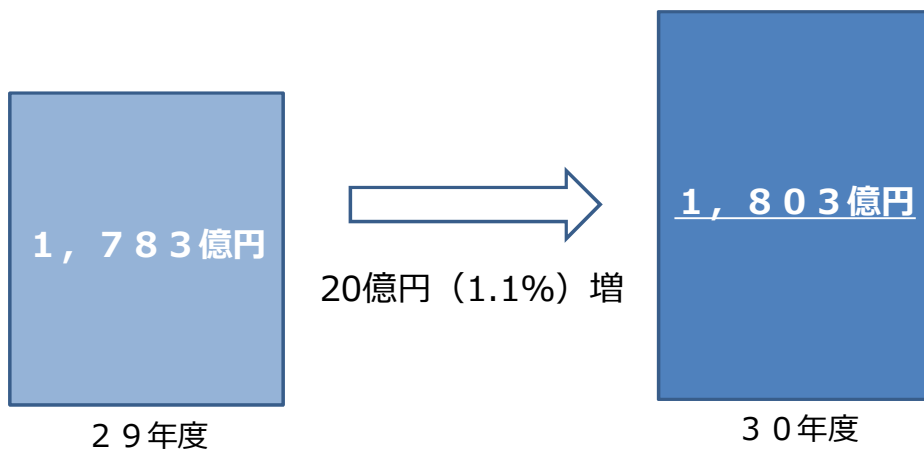
平成30年度 当初予算の概要

1



■平成30年度一般会計当初予算の総額

- ・一般会計 **1,803億円**は過去2番目の規模



2



平成30年度当初予算編成のポイント

- ラグビーワールドカップ2019™の開催を1年後に控える
- 交通安全、防災・防犯、公共施設の適正管理等への対応

「危機感」「希望」「行動」

元気で明るいまちづくり

安全・安心なまちづくり



「WE LOVE とよた」の深化

「わくわくする世界一楽しいふるさと・豊田市」へ

3



1 元気で明るいまちづくり

() 内は施策別事業集のページ数

都心

◆ 新豊田駅東口駅前広場の整備 1億7,200万円 (P23)

駅周辺の交通円滑化、歩行者動線の改善、にぎわい創出を図るため、新豊田駅東口駅前広場を整備

◆ 豊田市駅東口ペDESTリアンデッキの整備

3億2,200万円 (P23)

豊田市駅からKITARAまでの安全性、利便性、回遊性の向上を図るため、豊田市駅東口ペDESTリアンデッキを延伸

◆ 都心の公共空間活用 4,211万円 (P7)

中心市街地の広場等の公共空間を活用する取組（あそべるとよたプロジェクト等）を進め、にぎわいの創出を図るとともに、停車場線（豊田市駅前の道路）の将来の歩行者専用化に向けた調査等を実施

◆ **拡充** 矢作川水辺プロジェクトの実施

3億9,169万円 (P23)

矢作川の水辺空間において、広場、散策路、駐車場等の整備を行うとともに、多様な主体による更なる活用を推進し、都心と一体となったにぎわいを創出



(公共空間の活用例)



(矢作川水辺プロジェクト整備イメージ)

4



1 元気で明るいまちづくり

観光・国際化

- ◆ **拡充** **多言語化の推進** 4,600万円 (P6)
観光案内看板の多言語化を推進するほか、多言語マップ・ガイドブックを作成
- ◆ **拡充** **外国人観光客の受入環境の向上** 2,026万円 (P6)
観光事業者等に対するアドバイザー、通訳等の派遣を行うほか、「外国人おもてなし市民会議」による着付け体験、茶道体験等の交流プログラムを展開
- ◆ **拡充** **トイレの洋式化の推進** 1億3,170万円 (P7)
観光施設や交流館等の公共施設のトイレ洋式化を推進するほか、民間宿泊施設のトイレ洋式化に対する補助を実施

文化・スポーツ

- ◆ **拡充** **豊田スタジアムの施設整備** 25億3,937万円 (P7)
世界最高峰の観戦空間を創出するため、2基目の大型映像装置の設置、音響・照明設備の更新、スタンド席の手すり改修、施設の安全性を確保するための修繕等を実施
- ◆ **拡充** **市民アートプロジェクトの実施** 1,502万円 (P8)
文化活動の担い手となる人材を育成し、身近な暮らしの中に文化芸術を広めるため、市民が主体となったアートプロジェクトを実施。平成30年度は新たな活動場所を整備

5



1 元気で明るいまちづくり

都市基盤整備

- ◆ **土地区画整理事業の推進** 68億4,698万円 (P6)
住民ニーズの高い良好な住環境創出のため、現在事業中の6地区（土橋・寺部・花園・浄水・平戸橋・四郷駅周辺）の事業を促進
- ◆ **道路ネットワークの強化** 39億4,885万円 (P4,24)
 - ・内環状線（高橋細谷線） ・豊田南・北バイパスの整備推進
 - ・物流ネットワークの強化（上郷SIC、豊田刈谷線ほか）
 - ・鉄道駅へのアクセス向上（西岡吉原線ほか）
 - ・国道419号及び国道301号関連市道
 (常設型公衆無線LANを整備する主な施設)

- 豊田スタジアム
 - 豊田市駅前広場（東口）
 - 参合館アトリウム
 - 能楽堂
 - コンサートホール
 - 市民文化会館
 - スカイホール
 - 足助の町並み、香嵐渓周辺施設
 - どんぐりの里いなぶ
 - 大井平公園
 - 三河湖観光センター ほか
- ◆ **若林駅付近の鉄道高架化の推進** 1億7,041万円 (P7)
名鉄三河線若林駅付近2.3kmの鉄道を高架化するため、引き続き鉄道事業者と仮線路や鉄道高架の設計を進めるとともに用地の取得等を実施
- ◆ **公共施設等における無料公衆無線LANの整備**
1,036万円 (P23)
来訪者の受入環境向上のため、豊田スタジアム等の集客施設や観光地に無料公衆無線LANを整備
- ◆ **愛知環状鉄道ICカード乗車券システム導入支援** 1億816万円 (P24)
市民や来訪者の移動の円滑化のため、愛知環状鉄道が行うICカード乗車券システムの導入を補助

6



1 元気で明るいまちづくり

ラグビーワールドカップ2019™ に向けて

◆ ラグビーワールドカップ2019™ 開催への準備 2億8,029万円 (P9)

- ラグビー日本代表vsジョージア代表(6月)の開催支援
 - 愛知・豊田ラグビーフェスタ2018(4大学交流戦・6月)の開催
 - 交通輸送、警備、ファンゾーン、おもてなしエリア、都市装飾等各種計画の策定
 - 500日前イベント、1年前イベント等の開催
 - 大会公式ボランティアと独自ボランティア(TRY FOR ALL スタッフ)の募集・育成
 - 豊田スタジアムでの対戦国を中心とした誘客のためのプロモーションの実施
- ※愛知・豊田開催支援委員会の事業を含む

世界一熱いラグビーを届けよう。

TRY FOR ALL
 RUGBY 2019 AICHI・TOYOTA

豊田スタジアムでの開催試合

2019年	
9月23日	ウェールズ×ジョージア
9月28日	南アフリカ×アフリカ地区代表
10月5日	日本×ヨーロッパ・オセアニア プレーオフ勝者
10月12日	ニュージーランド×イタリア

ラグビーワールドカップ2019™の契機を最大限に生かし、「訪れてよし」の魅力を創出

7



2 安全・安心なまちづくり

交通安全・防災

- #### ◆ **拡充** 歩行者保護モデルカー活動の推進 450万円 (P18)
- 「車優先から歩行者優先」へとドライバーの意識を変えるため、決起大会の開催や横断幕の掲示、ステッカーの配布等、「歩行者保護モデルカー活動」を実施



(歩行者保護モデルカー活動ラッピングバス)

- #### ◆ **高齢者への交通安全対策の推進** 1,272万円 (P18)
- 高齢者の交通安全意識の高揚を図るため、「高齢者運転技術講習会」や「高齢者交通安全防犯世帯訪問事業」を実施

- #### ◆ **新規** 防災ラジオの普及 1億5,710万円 (P17)
- 災害時の情報伝達体制を強化するため、280MHz帯対応の防災ラジオを市が一定額を負担し配布

保健福祉

- #### ◆ **拡充** 健康と福祉の相談窓口の運営 1億3,102万円 (P2)
- あらゆる世代・対象に対応する総合相談窓口を充実するため、市内2か所目の窓口を猿投コミュニティセンターに設置

- #### ◆ **新規** 産学官連携による先端技術を活用した在宅療養の推進 2,169万円 (P2)
- 産学官の連携により、ロボット技術を活用した在宅療養支援や遠隔診療の実証を推進

- #### ◆ **認知症高齢者への支援** 3,006万円 (P2)
- 認知症初期集中支援チームによる支援や徘徊者搜索機器の導入補助を実施

8



2 安全・安心なまちづくり

子育て・教育

- ◆ **新規** 小中学校へのエアコン整備 **1億3,770万円 (P12)**

学習環境の向上を図るため、全ての小中学校にエアコンを整備。平成30年度は中学校の整備に関する設計を実施

- ◆ **拡充** 子どもの貧困・孤食対策の推進 **1,525万円 (P16)**

子どもの貧困や孤食をテーマとした情報交換会を地域で実施し、現状や課題を共有するとともに、地域で実施する子ども食堂や学習支援等の取組について、多様な主体が関わり、展開できるよう支援を実施



(とよた子育て総合支援センター「あいあい」)

- ◆ **拡充** とよた子育て総合支援センター「あいあい」のリニューアル **1億円 (P10)**

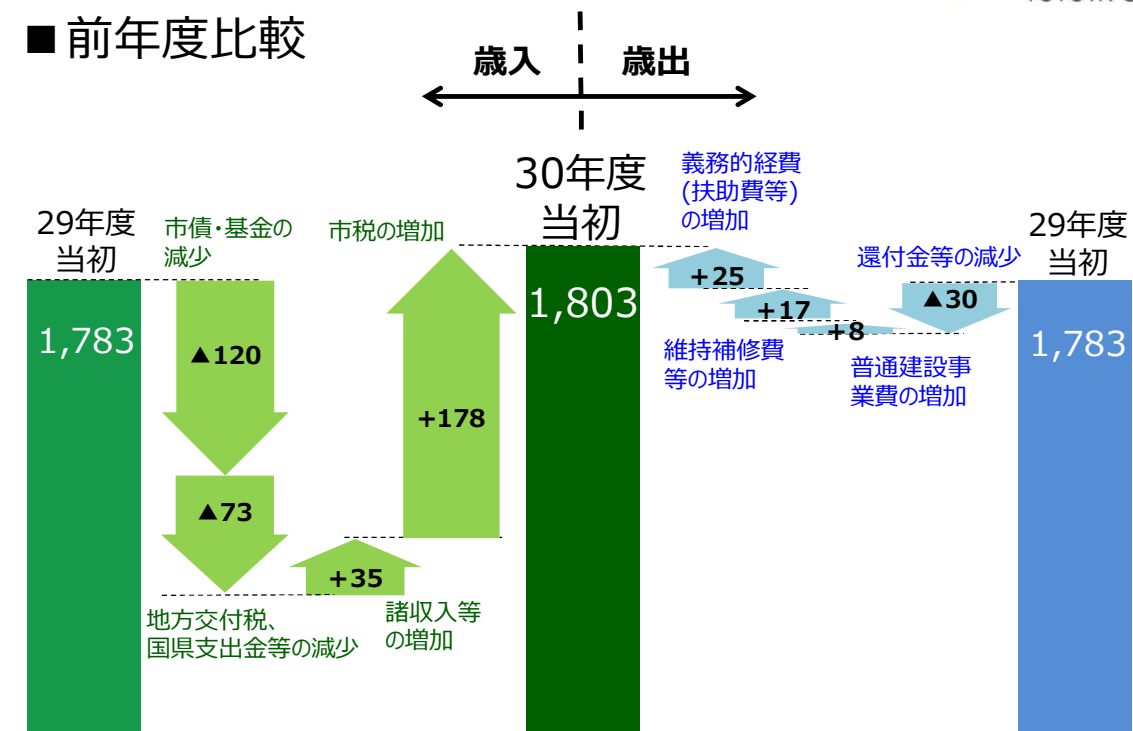
とよた子育て総合支援センターをリニューアルし、講座等のメニュー拡充や市民団体との連携強化を図るほか、地域の木材を活用した改修を実施

危機感をもって市民の安全・安心に関わる取組を推進

9



前年度比較



10



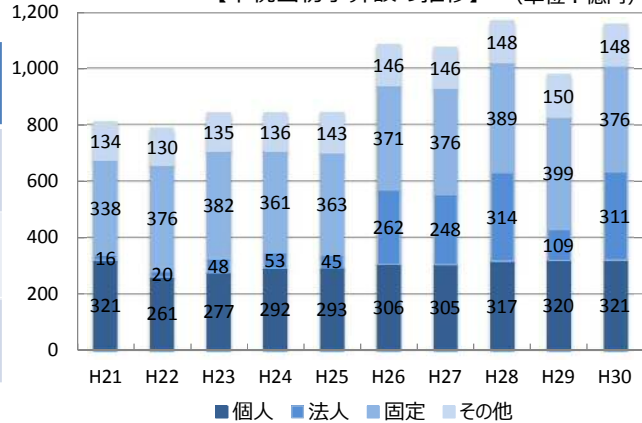
■ 歳入の特徴＜市税＞

- ・市税 1,156 億円、対前年度 1,78 億円の増
- ・企業業績の変動により、法人市民税は大幅に回復

【主な市税の対前年度比較】 (単位：億円)

	30年度	29年度	増減
個人市民税	321	320	+1
法人市民税	311	109	+202
固定資産税	376	399	▲23

【市税当初予算額の推移】 (単位：億円)



市税 予算	809	787	842	842	844	1,085	1,075	1,168	978	1,156
----------	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-------	-------	-----	-------

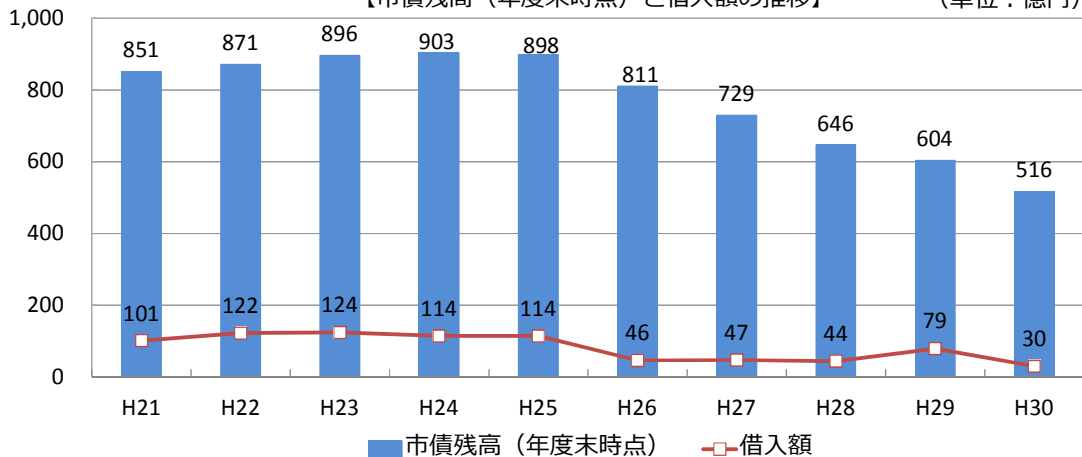
11



■ 歳入の特徴＜市債（借入金）＞

- ・借入額は元金償還額を超えない額とする
- ・土地区画整理や公共施設の整備等、将来のまちづくり事業に活用

【市債残高（年度末時点）と借入額の推移】 (単位：億円)



元金償還額	107	102	99	107	119	133	129	128	121	118
-------	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

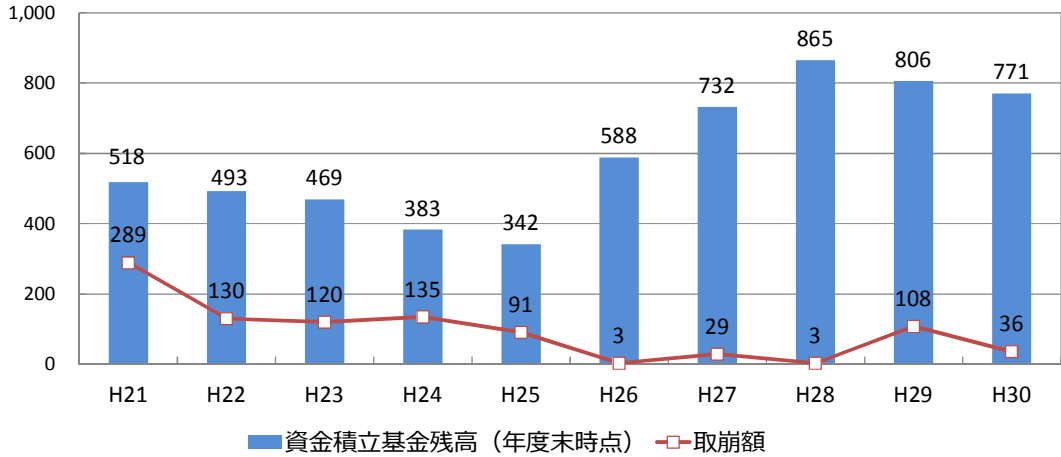
※H21～H28は決算額、H29及びH30は見込み額 12



■ 歳入の特徴 <基金>

- ・ 第8次総合計画の計画的な推進等に活用
- ・ 急激な経済情勢の変化等の対応に必要な基金残高は確保

【資金積立基金残高（年度末時点）と取崩額の推移】 (単位：億円)



積立額	88	105	96	49	50	249	173	136	49	1
-----	----	-----	----	----	----	-----	-----	-----	----	---

※H21～H28は決算額、H29及びH30は見込み額 13



■ 歳出の特徴 <性質別前年度比較・義務的経費>

- ・ 人件費は、退職予定者の増加により増
- ・ 扶助費は、障がい福祉施設や私立認定こども園の増加により増

(単位：億円)

区分	30年度	29年度	増減額	主な増減理由
人件費	314	309	+5	職員退職手当 +2.3億
扶助費	308	287	+21	障がい福祉 介護給付費 +8.0億 障がい福祉 児童発達支援費 +5.3億 教育・保育給付費 +3.5億
公債費	122	123	▲1	元金 ▲0.3億 利子 ▲1.0億
計	744	719	+25	



■ 歳出の特徴 <性質別前年度比較・その他経費>

(単位：億円)

区分	30年度	29年度	増減額	主な増減理由
物件費	328	317	+11	放課後児童健全育成費 +2.6億 ラグビーワールドカップ2019開催費 +1.1億
維持補修費	28	25	+3	道路修繕費 +1.1億 河川修繕費 +0.4億
補助費等	204	221	▲17	過誤納還付金 ▲18.4億 療養給付費負担金 +1.3億
普通建設事業費	372	364	+8	中央公園施設営繕費 +17.6億 美術館改修費 +12.5億 駅前通り北地区市街地再開発費 ▲37.1億 土地区画整理事業 ▲34.6億
繰出金	106	102	+4	産業用地造成事業特別会計繰出金 +7.4億 介護保険事業特別会計繰出金 +3.3億
その他	21	35	▲14	再開発組合貸付金 ▲9.0億 下水道事業出資金 ▲2.1億
計	1,059	1,064	▲5	

15



■ 歳出の特徴 <普通建設事業費>

- ・将来のまちづくりに必要なハード整備を計画的に推進
- ・ラグビーワールドカップ2019™を契機として、基盤整備等を推進

ラグビーワールドカップ2019™を契機とする施設整備

・豊田スタジアム施設整備事業	25.4億円 (+24.4億円)
・美術館改修事業	12.5億円 (皆増)
・都心環境計画推進事業	4.7億円 (+2.5億円)
・矢作川水辺プロジェクト事業	4.0億円 (+3.8億円)
・愛知環状鉄道整備促進事業	1.1億円 (皆増)
(重点施策1) 超高齢社会への適応	
・藤岡地区地域核整備事業	13.5億円 (+6.6億)
・(仮)松平地域体育館施設整備事業	8.0億円 (+7.5億)
・公共交通バス購入事業	1.8億円 (皆増)
(重点施策2) 産業の強靱化	
・内環状線建設事業	26.9億円 (+15.1億)
・南北バイパス関連整備事業	5.1億円 (+1.4億)
(重点施策3) 暮らしてよし、訪れてよしの魅力創出	
・土地区画整理事業 (土橋、寺部、花園、平戸橋、四郷駅周辺)	47.0億円 (▲34.6億)
・空調機器整備事業 (中学校エアコン整備設計)	1.4億円 (皆増)

16



■ 更なる歳入確保、事業・事務の最適化等の推進

● 積極的な歳入確保の取組 2.5 億円

- ・ 国庫補助金等の積極的な確保
- ・ 市有財産最適化方針に基づく売却・貸付等の推進
- ・ 広告事業の拡大

● 事業・事務の最適化等の推進 ▲5.0 億円

- ・ 補助金の見直し
- ・ 公共施設の維持管理の適正化
- ・ 電力契約プラン見直しによる光熱水費の削減 等

17



■ 今後の財政見通し

・ 地方税源の偏在是正等により、33年度以降、本市の歳入構造は大きな転換期を迎える

(1) 法人市民税国税化等の影響

※30年度当初予算額ベースで試算

■ 30年度当初予算での影響：▲82億円

法人市民税率	12.3%→9.7%	▲81億円
法人税率	25.5%→23.4%	▲34億円
地方消費税交付金	消費税率5%→8%	+33億円

■ 33年度以降の影響：▲94億円

法人市民税率	9.7%→6.0%	▲115億円
法人税率	23.4%→23.2%	▲2億円
地方消費税交付金	消費税率8%→10%	+23億円

◆ 上記以外に、増額要因として「法人事業税交付金」が交付される見込み

※30年度当初予算額と33年度試算額との比較

(2) 地方交付税合併特例の終了

※各年度当初予算の比較

■ 普通交付税額の推移

(27年度)	(28年度)	(29年度)	(30年度)	(31年度)	(32年度)	(33年度)
65億円	62億円	48億円	33億円	20億円	7億円	0円

- ・ 偏在是正の影響が本格化する33年度までの間は、基金・市債を有効活用し、早期の効果発現が期待される事業を見極めて積極的に推進
- ・ 同時に「事業・事務の最適化」を進め、将来の歳入構造の変化に備えていく

18



施策別の事業内容は別冊「施策別事業集」にて
ご確認ください。

